

(様式1)

校 種	小 ・ 中 どちらかに○	学校番号	6 5	学校名	宇都宮市立田原小学校
-----	-----------------	------	-----	-----	------------

平成29年度 学校経営計画

1 教育目標

(1) 基本目標

豊かな心や健やかな体をもち、自ら考え、取り組み、判断し、新しい時代を創造的に生きる児童を育成する。

(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など）

かしこく ― よく考え がんばりぬく子ども
なかよく ― すなおで 思いやりのある子ども
元気よく ― じょうぶで 明るい子ども

2 学校経営の理念

次代を担う児童一人一人が、社会的自立を果たして未来を創造的に生きていく力を身に付けることができるよう、教職員がそれぞれの持ち味を発揮しながら、家庭・地域と連携し、共に本校の教育を担う者として英知と熱意を結集することにより、一体感のある活力に満ちた教育活動を展開する。

児童の発達の段階や個人差に目を向けつつ、同時に、人としての成長は、望ましい集団の中で保障され、促進されることを重視し、常に「個」と「集団」の双方の視点を持ちながら教育目標の達成を目指して、あるべき学校教育の姿を追求し続ける。

3 学校経営の方針

(1) 居がいのある学校づくり

児童・教職員・保護者・地域・ボランティアなど、学校にかかわる誰もが自己存在感を実感できる学校づくりに努める。

(2) 創意ある教育課程の編成と地域とともにある学校づくり

児童・学校・地域の実態を踏まえ、知・徳・体の調和のとれた創意ある教育課程を編成し、教育目標の実現に努める。また、伝統ある校風を基盤に、児童と地域の実態や思いを踏まえるとともに、小中一貫教育・地域学校園や魅力ある学校づくり地域協議会と連携を図りながら、地域の教育力を生かした教育活動を推進する。

(3) 生きる力と社会性を育む教育実践

確かな学力と豊かな心、そして健やかな体をバランスよく育成するとともに、個人的資質及び公民的資質の伸長を図る。また、基本的な生活習慣と言語活動の充実、さらに道徳の実践的指導を推進する。

(4) 自己研鑽と組織的な学校運営の推進

教職員は情熱と使命感をもって、絶えず研修と修養に努め、共に学び合いながら、時代の要請に即応する教育の推進に努める。また、同僚性と自律性を基盤にした組織的な学校運営に努める。

(5) 学校と地域の協働による安全体制の確立

教育環境を整備するとともに、地域と協働しながら安全体制を確立し、安全・安心で潤

いのある学校づくりに努める。

[田原地域学校園教育ビジョン]

自らすすんで何事にも取り組む子どもの育成

4 今年度の重点目標（「小中一貫教育・地域学校園」に関する重点目標は文頭に○）

（1）学校運営

- ・地域社会との連携を図る教育活動を展開するとともに、積極的な情報の発信や学校の公開に努める。
- ・校内のさらなる情報の共有化を図ることにより、家庭や地域から「信頼される学校づくり」を推進する。

（2）学習指導

- ・自分の考えを伝えあい、共に学び合うことのできる児童の育成に努める。
- ・児童の主体的な家庭学習の実践を通して、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させる取組を推進する。

（3）児童生徒指導

- ・思いやりの心を育むとともに、決まりやマナーを身に付け、認め励まし合いながら生活する児童育成の取組を推進する。

（4）健康（体力・保健・食・安全）（元気アップ教育に係る取組を含む）

- ・自分の健康状態に関心を持ち、心身と心の健康増進に努め、健康な生活を実践しようとする児童育成の取組を推進する。

5 学習指導、児童生徒指導、健康（体力・保健・食・安全）に関する取組

※ 様式2～4参照

6 特色ある学校づくり等に関する取組

（1）育てたい資質・能力

自他の良さを認め合い、他を思いやり、地域を愛する心と豊かな人間性の育成

（2）具体的取組（提案型予算「頑張る学校プロジェクト」に関する取組には文頭に◇）

◇① 生活科・総合的な学習の授業研究を行い、探究的な生活科・総合的な学習への理解を進める。

- ・教員が一人1授業を行い、授業研究会を実施する。（通年）
- ・地域の特性、人・自然を生かした体験活動を取り入れた授業を実施する。（通年）

◇② 基礎基本の定着を図るとともに探究的な授業を進め、教員の授業力と児童の学力を高める。

- ・「田原小学習のやくそく」を配付し、話の聞き方、発表の仕方など、基本的な学習態度の定着を図る。（通年）
- ・「めあて」の掲示、見通しを立てる場、考える場や学び合う場の設定、まとめ、振り返りなどの授業の流れ「田原っ子の学び」を継続実践して主体的に学習する児童を育てる。（通年）
- ・朝の学習時間（火・木・金の8:25～8:40）を「基礎学習の時間」とし、漢字や計算等の定着を図る時間として計画的に活用する。（通年）
- ・宮っ子学力ステップアップシートを実施し、全員100点合格できるようにする。
- ・習熟度別学習やT・T等を取り入れるとともに、児童一人一人が主体的に課題解決に取り組むための多様な学習活動や形態を工夫する。（通年）
- ・児童相互の学び合いの場等で、話す・聞くを中心とした言語活動を取り入れた授業を

- 実践する。（通年）
- ・各教科年間指導計画の評価基準に沿った児童と評価を実践し、学力の向上を図る。
- ③ 家庭学習の定着と充実を図る。
- ・適当な分量（１０分×学年＋１０分）や適時性のある内容の宿題を出すとともに、自主学習を勧めて、家庭学習の習慣の定着を図る。（通年）
 - ・「家庭学習のすすめ」「自主学習のすすめ」を各家庭に配付し、家庭学習の習慣化と充実を図る。
 - ・家庭学習強化週間を設け、家庭学習の時間を調べることを通して家庭学習への意識付けを図る。
 - ・読書を勧め、年間２回（６月・１０月）校内読書週間を実施するとともに、読書週間期間中と夏休みに「親子読書」を行う。
 - ・毎月第３土曜日を「家読の日」とし、保護者への啓蒙を図るとともに、月１回、読書量を調査する。
- ④ 家庭・地域との連携・協働
- ・地域行事やＰＴＡの活動と積極的に連携し、学校・家庭・地域で共に児童を育てるという意識を高める。
 - ・教育目標や学校経営方針の保護者・地域への周知はもとより、ホームページや学校だよりにより学校の教育活動、情報を積極的に公開する。
 - ・魅力ある学校づくり地域協議会との連携を充実し、児童の教育をより充実したものにする。
 - ・街の先生や地域の方々をゲストティーチャーに招き、より内容豊かな体験的授業を実施する。
- ⑤ 健康・体力の向上を図る。
- ・家庭との連携を強化しながら、早寝早起き朝ごはん、手洗いうがい歯みがきなどの基本的生活習慣を育成する。（通年）
 - ・生活習慣病予防に関する集団及び個別指導の充実を図る。（養護教諭と学校栄養士の連携）
 - ・正しい姿勢と視力低下防止を図るために毎月「姿勢の日」を実施する。
 - ・歯科保健指導を充実する。（フッ素入り歯みがき剤による歯みがき指導、養護教諭による個別のブラッシング指導の実施）
 - ・体力づくり活動を計画的、継続的に実施する。
 - ・水泳、鉄棒、なわとび等で学年の発達段階に応じて到達目標を明確化し、技能の習得を検定等により把握する。また、児童が進んで運動に取り組む意欲・態度の向上を目指す。地域学校園の小中学校と連携し、技能の内容を検討することにより継続的な指導を行い、技能の向上、運動への意欲の向上を目指す。
 - ・学校保健給食委員会（１０月）、地域学校園保健委員会（２月）を開催する。
 - ・心身に健康問題をもつ児童の早期発見とチームによる指導、学校カウンセラー及び関係各機関との連携を図る。（通年）

７ 本市の重点施策・事業との関連

（１）地域とともにある学校づくり（「魅力ある学校づくり地域協議会との連携・協働を含む」）

①基本的考え

伝統ある校風を基盤に、児童と地域の実態や思いを踏まえるとともに、魅力ある学校づくり地域協議会と連携を図りながら、地域の教育力を生かした教育活動を推進する。

②主な取組

ア 外部講師・地域人材を活用した体験活動の充実

- ・学校行事による体験活動はもとより、生活科・総合的な学習の時間・各教科等で「魅力ある学校づくり地域協議会」との連携を図り、外部講師・地域ボランティアを活用した体験活動を積極的に行う。
- ・郷土に伝わる伝統芸能である『逆面獅子舞』を『獅子舞体操』として運動会で継続実施するとともに、道德の郷土愛として授業を実施する。
- ・勤労生産的学習として学校農園を活用し、地域ボランティアの協力を得て、稲作（苗代づくり・田植え・刈り取り・おだかけ・昔の農機具での脱穀・収穫祭まで）・各種野菜の栽培・調理等を行う。
- ・地区内の自然・歴史的文化財・地区内の企業を活用した学習（学校西側を流れる山田川の付近の動植物の観察・水質調査・探鳥会・逆面城跡付近の地名や文化遺産の探究活動・地区内の企業を活用したキャリア教育等）を積極的に進める。

イ 学区内幼稚園・保育園との交流の促進

ウ 保護者や地域と連携したオープンスクールの実施

（２）小中一貫教育・地域学校園

①基本的考え

児童・学校・地域の実態を踏まえ、知・徳・体の調和のとれた創意ある教育課程を編成し、教育目標の実現に努める。また、伝統ある校風を基盤に、児童と地域の実態や思いを踏まえるとともに、小中一貫教育・地域学校園内の学校と連携を図りながら、「自らすすんで何事にも取り組む子どもの育成」のための取り組みを推進する。

②主な取組

ア 情報共有、協働活動など小中連携の一層の充実

- ・統一献立・お弁当の日の実施、たべるんじゃ一隊による各学級訪問
- ・中学生との合同あいさつ運動
- ・へるしープロジェクト（生活習慣病予防）の展開、学校園保健委員会の開催
- ・事務室の効率化、若手育成システムによる研修機会の充実、
- ・読書活動に関する共有の取り組み
- ・特別支援学級の交流推進

イ 円滑な交流を図るための乗り入れ授業の推進

ウ 地域協議会との連携

- ・あいさつ標語の表彰と入選作品の掲示
- ・講演会の開催